

こどもを中心に、人と人がつながる施設



地上2階建て。支所棟と図書館棟を交流スペースが結び、その間に子育て支援センタープレイルームがあります。プレイルームは構造材としてCLT*が使われています。館内の交流スペースは自由な活動ができ、コミュニティの活性化を促す空間となっています。

※CLT:クロス・ラミネイテッド・ティンバーの略で、欧州で開発された工法。薄い木板の層を各層で互いに直交(90度)するように積層接着した厚型パネル
(CLT建築推進協議会HPより)



プレイルーム

基本コンセプト

多様な住民が確かで豊かな暮らしを営むための
コミュニティづくりの場

〈基本コンセプト実現のために「えんてらす」が目指すこと〉

1. 地域内外の多様な主体による活動の創発
2. 新しい「ふるさと」の創出と地域の持続可能性の確保
3. 「えんてらす」自身が進化する

目指す姿

こどもがつなぐ「あたらしいふるさと」

目指す姿のキーワード

▶こども

子育て支援センターを利用する乳幼児、図書館や学習スペースを利用する小中学生や高校生、ジュニアリーダや子ども会で活躍する小中学生、これらの子どもたちの保護者など

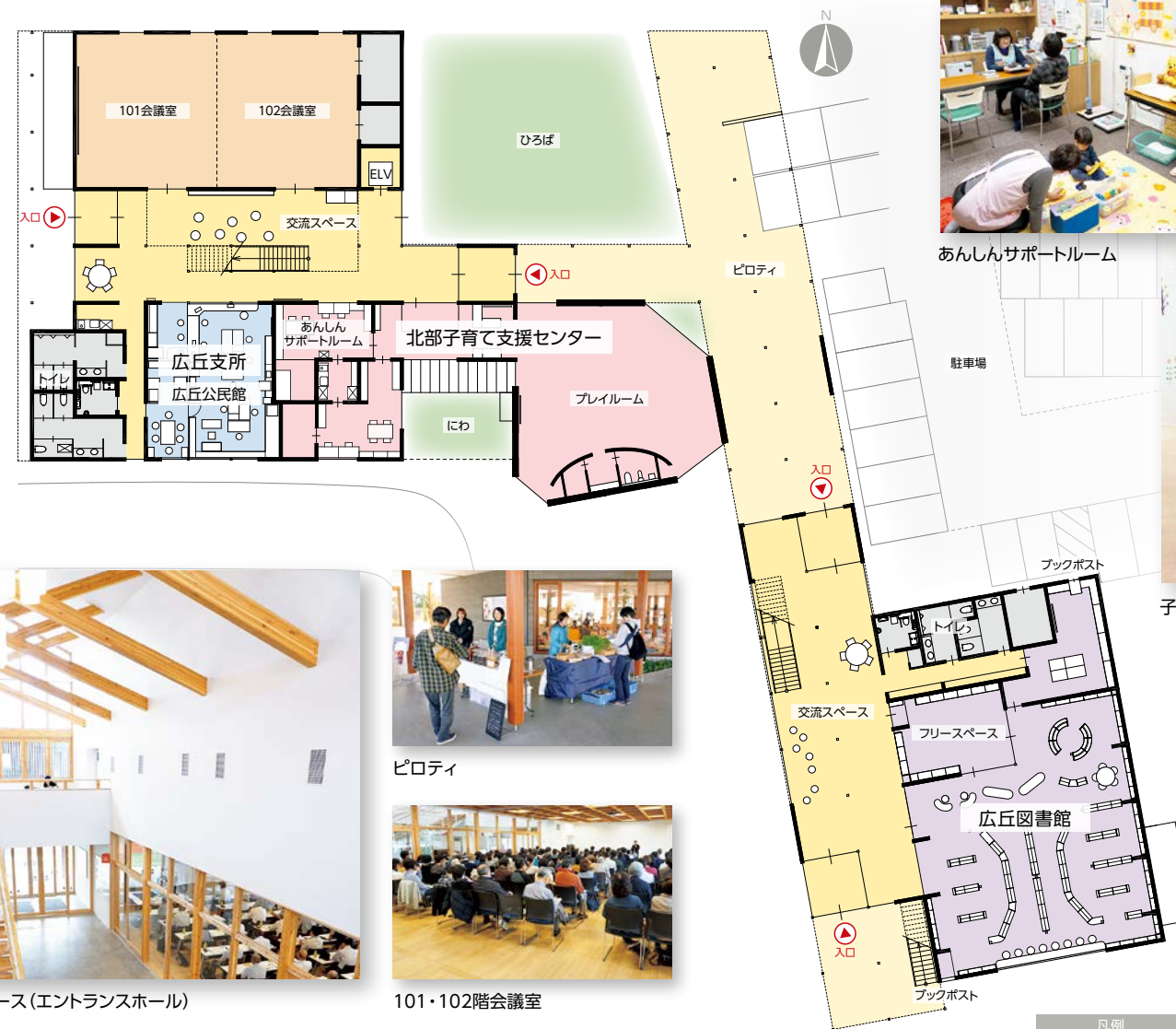
▶つなぐ

子どもを「核」に集まり、つながり、育てることにより、多世代または新旧の住民、民間企業、自治会、大学、市民団体など地域内外の多様な人的資源がつながり、新たな価値観を生み出す仕組み

▶「あたらしいふるさと」

- ① 北部地域に住む人たちが、世代や立場の枠を超えて出会い、交流し、地域に根差した活動を通じて新たなコミュニティが生まれる場
- ② 北部地域に住む人たちが、100年後もこの地域に誇りと愛着を持って生き生きと暮らすことができる「ふるさと」

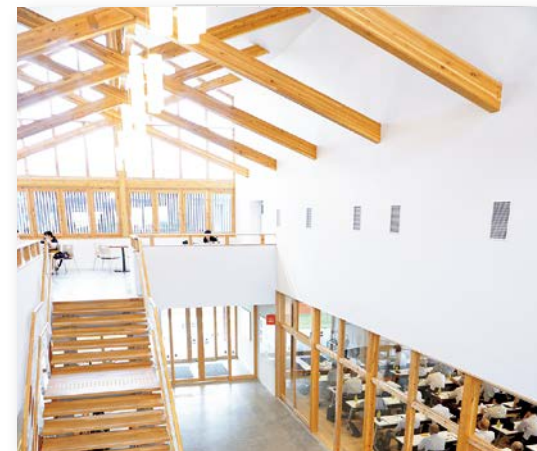
1階 平面図



あんしんサポートルーム



子育て支援センター



支所棟交流スペース(エントランスホール)



ピロティ

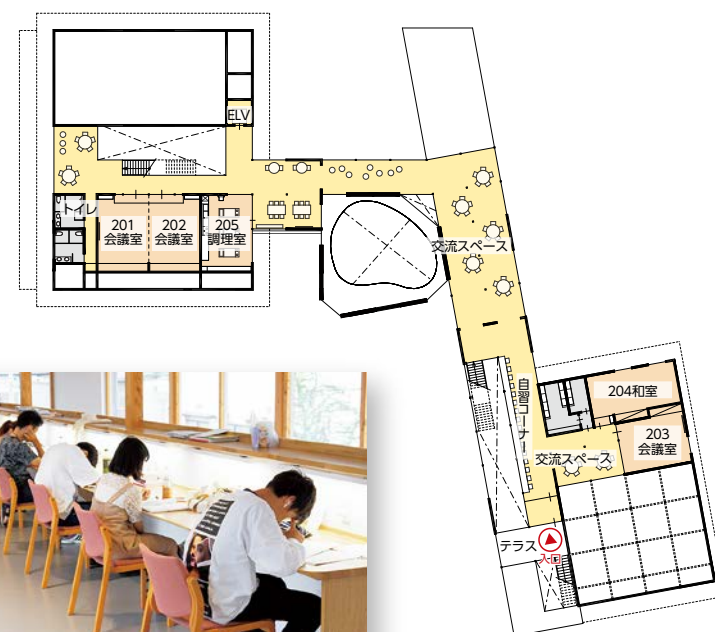


101・102階会議室



広丘図書館

2階 平面図



自習コーナー



交流スペース

凡例	
交流スペース	図書館
広丘支所	子育て支援
WC等	公民館機能



ひろば